

新町「さつま町」に期待すること即ち、旧宮之城、旧鶴田、旧薩摩の、それぞれの町の垣根を取り払い、大同団結することであります。

地方財政状況は極めて厳しい状況のもと、合併特例による一〇年間の財政支援を、いかに生かして行政発展につなげるかが、重要な課題であると思います。

当地方に根をおろした企業や日夜努力している地場企業の活躍、地産地消による商業の発展等、住民一人ひとりが手を取り合って、知恵を出して頑張れば、明るい未来が開けるものと、新町「さつま町」の将来を期待しております。



舟倉 武則議員

新町「さつま町」の町づくりは、町民一人ひとりの、住民参加の町づくりであってほしい。自分たちの住む地区は、自分たちで考えるようにし、自分たちで出来る、小さなことから始める地域興しの町づくりであってほしい。

「地域の振興あつての新町づくり」を基本とし、地域の計画に行政がアドバイスなり、支援をするシステムの強化が必要と思う。町として残れるような行政のスリム化が進み、誇れる「さつま町」になつてもらいたい。



前野 浩司議員

希望と躍進の町「さつま町」が誕生します。しかし、町の財政は、非常に厳しいものがあります。厳しい財政のなかで、期待しているのが、子育て環境のさらなる整備と支援です。

少子・高齢化社会のなか、高齢者の対策も大切ですが、それ以上に、少子化対策が必要です。

出生時を含め、乳幼児・幼稚園・保育園児・小中学生のために、養育・教育において、全国自治体のお手本となる「子育て日本一の町」になることを期待したい。



平八重光師議員

これまでのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。



平成17年第2回定例会最終日(平成17年3月2日 議会議事室)